

駒沢大学駅リニューアル工事に伴う トイレ位置切替えのお知らせ

田園都市線駒沢大学駅をご利用いただきまして、
ありがとうございます。

駒沢大学駅リニューアル工事に伴い、**7月9日（土）**より、**男性トイレ・女性トイレ・多機能トイレ**の位置が切替わり、**リニューアルされ供用開始**いたします。
（それに伴い、現在のお客様トイレは封鎖いたします）

今後もリニューアル工事は継続してまいりますので、
引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

◆駒沢大学駅リニューアル工事 竣工：2024年夏（予定）

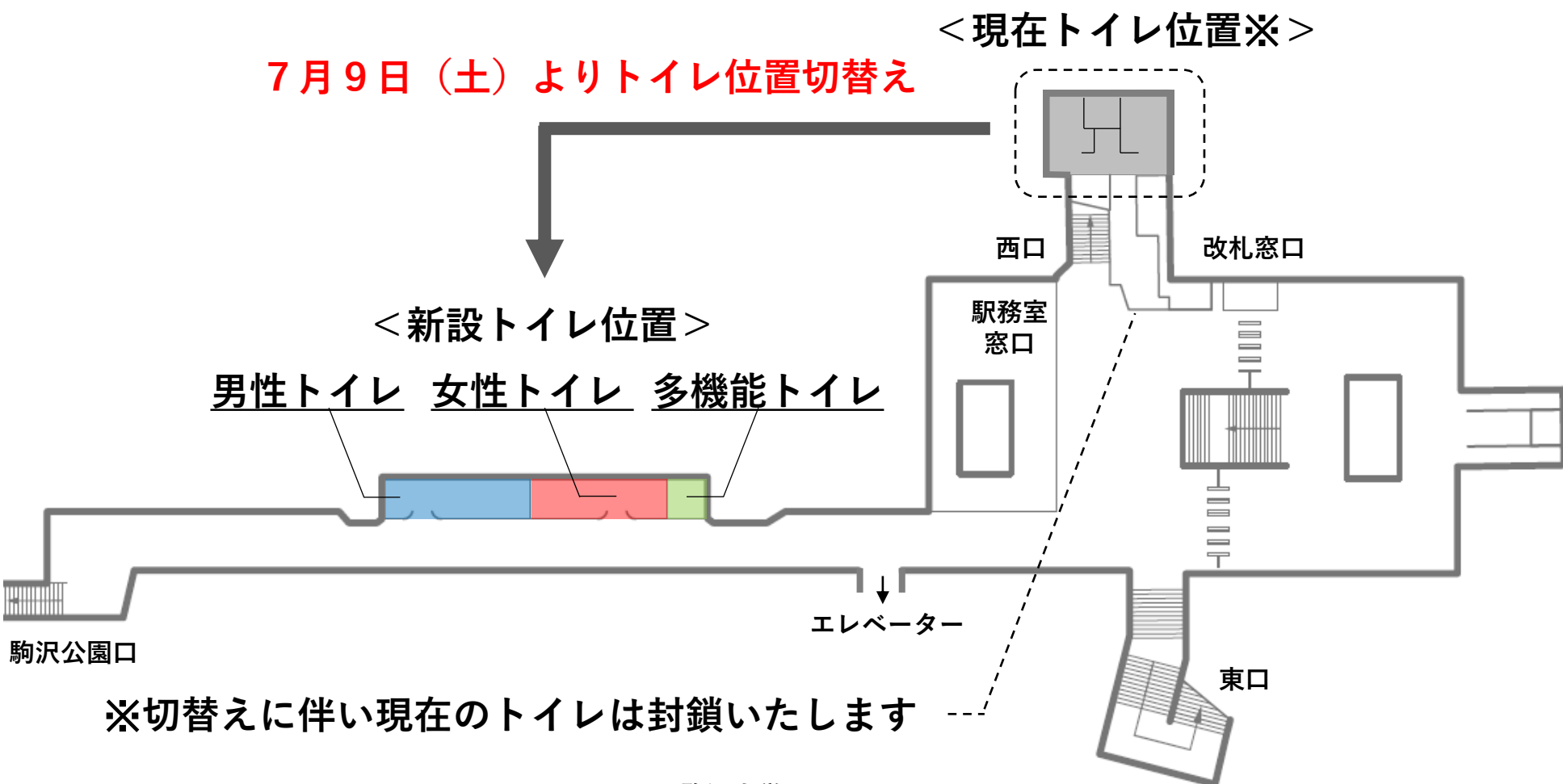
新設トイレではスペースを拡大・衛生器具数を増やすと共に、デザインの向上、
旧玉川線の敷石を活用するなど環境に配慮した循環施策にも取り組み、リニューアルしております

7月9日（土）よりトイレ位置切替え

＜現在トイレ位置※＞

＜新設トイレ位置＞

男性トイレ 女性トイレ 多機能トイレ



※切替えに伴い現在のトイレは封鎖いたします

駒沢大学駅B1F

(参考) デザイン・環境の取組み

STATION DESIGN

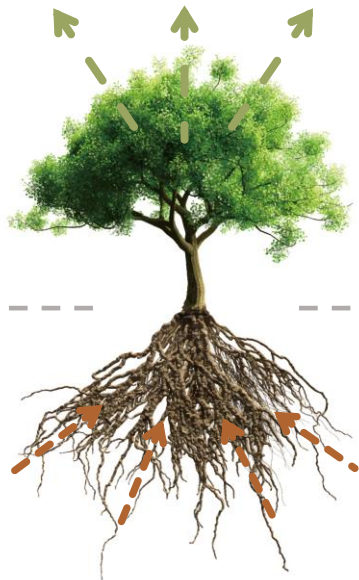
駒沢大学駅のデザイン

「UNDER THE PARK」

公園とともにあるライフスタイルをイメージするデザイン

地上

まちのシンボルとなる「1本の木」



地下

まちの魅力を吸収し、育む
人が集まるまちの根っこ

誰もが居心地良く集まれる、駒沢のベースとなる場所。

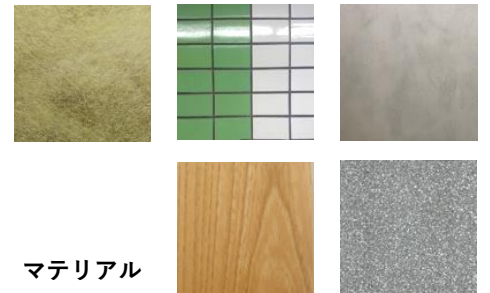
駒沢大学駅を訪れる人々が集まって過ごす場所＝園 (garden)をつくります。

駅を構成する要素を公園にある3つの要素、

土木（普遍的なもの）、木（経年変化するもの）、葉（更新するもの）になぞらえて分類し、異なる時間軸を持った要素を組み合わせ、持続可能な駅空間を創出します。



着手前写真



マテリアル



イメージパース

RESTROOM DESIGN

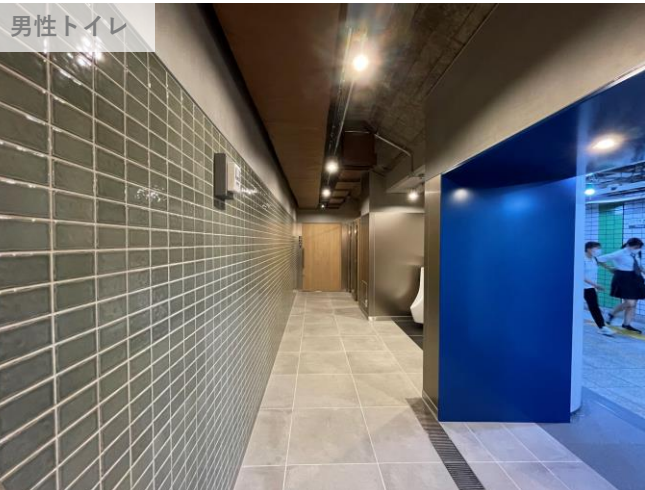
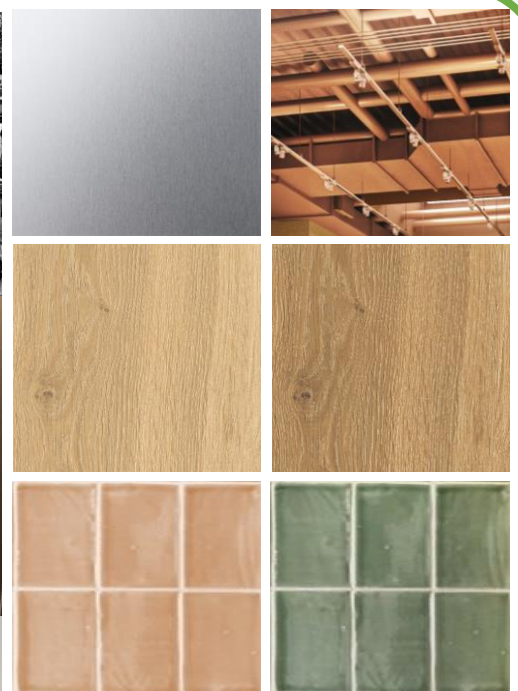
構内トイレのデザイン

加工の施されたアルミパネルを壁面に用いて、柔らかく印象的な光で包まれる空間。
地上の木から伸びた根をイメージした配管やダクトにより、「UNDER THE PARK」という地下空間をより抽象的に表現しました。

また、脱炭素・循環型社会に向けた取り組みとしてライニングに旧玉川線の廃材として保管していた敷石を活用し、廃材処理時のCO₂を削減しました。



旧玉川線の廃材として保管されていた敷石



男性トイレ



女性トイレ



多機能トイレ